

## 第18回名張市地域公共交通会議議事概要

日時 平成26年8月20日（水）

午後3時30分より

場所 名張市防災センター防災研修室1、2

出席者：（敬称略）

### （1）委員

笠原 正嗣（皇學館大学現代日本社会学部教授）  
尾崎 彰（三重交通株式会社伊賀営業所所長）  
濱口 良義（三重近鉄タクシー株式会社名張営業所所長）  
深山 美芳（深山運送有限会社代表取締役社長）  
川瀬 和也（代理出席、株式会社メイハン取締役部長）  
室谷 芳彦（名張市地域づくり代表者会議）  
清水 系慈（名張市身体障害者互助会会長）  
中 孝（市民公募）  
山本 哲巳（市民公募）  
野田 敏幸（国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）  
森澤 淳（三重交通労働組合伊賀支部支部長）  
岩崎 彰（三重県伊賀建設事務所副所長兼保全室長）  
栗田 裕士（三重県名張警察署交通課課長）  
伊藤 郁夫（代理出席、三重県地域連携部交通政策課生活交通班班長）  
高田 正美（名張市保育所（園）保護者会連絡協議会書記）  
松本 壽次（名張市都市整備部部長）

### （2）事務局

都市整備部都市計画室3名

会議の公開・非公開：公開

傍聴人：0名

協議事項：①市町村運営有償運送（国津コミュニティバス「あららぎ号」）の登録更新について  
②美旗地域コミュニティバス「はたっこ号」の東田原3号橋架替工事に伴う迂回運行について  
③公共交通に係る今後の市施策について

## 1. 挨拶

## 2. 議事内容

### ①市町村運営有償運送（国津コミュニティバス「あららぎ号」）の登録更新について

事務局 （説明）

会長 登録の有効期限までに手続きは間に合いますか。

事務局 はい。1ヶ月ほどで申請が出来ると考えています。

会長 平成26年度の利用人員が極端に減っていますが、何か理由はあるのですか。

事務局 平成26年度から国津小学校が廃校になったことに伴い、児童はスクールバスを利用するようになりました。

委員 「あららぎ号」の収支状況について教えてください。

事務局 年間およそ300万円で運行しています。収入の内訳は運賃が42万円～43万円、市費がおよそ210万円、県からの補助が25万円となっています。

委員 市財政が逼迫している中、「あららぎ号」とスクールバスの役割を一つにして、経費の無駄を省けませんか。

事務局 国津地域から「あららぎ号」とスクールバスについては切り分けて考えていただきたいとの要望があったと聞き及んでいます。一方、事務局としても公共交通については福祉バスやスクールバス等と一体した検討をすべきだと思案しています。

会長 以前は運転手の確保に苦労されたと聞いていますが、今はどうですか。

事務局 運行を開始してから10年が経ち、当時からの運転手もおられますが、全体的に高齢化が進み次の担い手を見つけなくてはいけないという声を聞いていますが、なかなか見つからないのが現状のようです。

会長 本件についてご承認いただけますか。ありがとうございます。

### ②美旗地域コミュニティバス「はたっこ号」の東田原3号橋架替工事に伴う迂回運行について

事務局 （説明）

会長 工事箇所を避けて通る方法は他にはないのですか。

事務局 交通事業者の意見を聞きながら検討したところ、集落内の道路が狭隘であることから、この迂回経路について検討することとしました。

会長 工期は1年間半の長期となりますが、短縮することはできないのですか。

事務局 河川を管理する三重県との協議の結果、出水期を避け渇水期に施工することとなりましたので、右岸側と左岸側それぞれ片方ずつを渇水期に施工するとこのような工期となります。

委員 迂回途中の停留所で乗降することはできますか。

事務局 運輸局へ別途申請しない限り、本来の順番で停留所に停まらなくてははいけません。バスを待つ煩わしさはあるかと思いますが、反対方向を走るバスを見てもうすぐ来るのだなと分かっていたいただくこともできます。

会長 利用者へ迂回途中の停留所には乗降できないとの案内が必要とも思います。

委員 私は美旗地域コミュニティバス運営審議会の委員長をしています。地区住民からは、迂回運行について5～6分の差であれば大して変わらないのとのことで同意を得ており、是非

ご賛同を賜りたくお願いします。

会長 迂回に係る経路の変更をして一定の期間を経た後、普段の経路に自動的に戻るのですか。

事務局 経路を戻す際は再び運輸局への申請が必要です。

会長 運行時刻は6分ずれることとなりますが、三重交通や近鉄との接続はできるのですか。

事務局 交通事業者と私どもで各結節について確認しましたが、特に問題は無かったと思います。

会長 ありがとうございます。他に質問等がなければお認めいただけますでしょうか。ありがとうございます。

### 3. その他

公共交通に係る今後の市施策について

事務局 (説明)

委員 「ナッキー号」については、障害者等の運賃免除を実施したことで、車内に手押し車を持ち込んだり身体の不自由なお客が増えたりと車内事故の危険が高まっています。細心の注意を払って運転していますが、1台で運行する現在の形態は乗務員の集中力や体力からして限度だと思っています。

事務局 以前から乗務員のそういったお声は聞かせていただいております、事務局が「ナッキー号」に乗車して利用実態を確認させていただいたこともありますが、乗車人員数の統計を取りながら、「ナッキー号」の運行形態について当会議でまたご議論いただくことも考えています。

会長 事故が起きてからでは遅いので、車内の掲示等の呼びかけで、乗り方の改善ができないでしょうか。

委員 お客様は車両後方のドアから乗車して、運賃を払うため前方のドアから降車するのですが、バスの構造によるのか、車両の後方から前方まで移動するのが困難なようです。また、車両の老朽化が進んできていることから、車両の更新についても検討いただきたい。

事務局 「ナッキー号」の運賃収入は年間450万円程度であり、市費は1,100万円を投じています。これを双方向運行にした場合、運賃収入は上がりますが、経費もおよそ倍かかると予想されます。市民や乗務員のお声を聞きながら、公共交通の市施策を検討する上で、税負担と利便の向上については当会議でまたご議論いただきたいと考えています。

会長 現在の車両の大きさが限界ですか。

委員 特に車両の大きさに限界はありませんが、現在の40人乗りの車両を更新するものとなりますと、バリアフリーに適合する決まりもあり、日野自動車の「ポンチョ」が挙げられ、車椅子に対応して空間が広く取れると思います。小型バスは制動力があるため、運転手は車内事故が発生しないように注意を払い、疲労が溜まりやすいと聞いています。

事務局 「ナッキー号」の車両更新や双方向運行、運賃等について、これから大きな話題になってこようかと思っており、課題やニーズを把握することが計画策定の前段階になりますので、国の支援を頂戴しながら計画策定に向けた調査事業に取りかかりたいと思っています。

会長 よろしいでしょうか。本日の議題は以上です。長い時間のご協力ありがとうございました。これをもちまして、第18回名張市地域公共交通会議を終えさせていただきます。